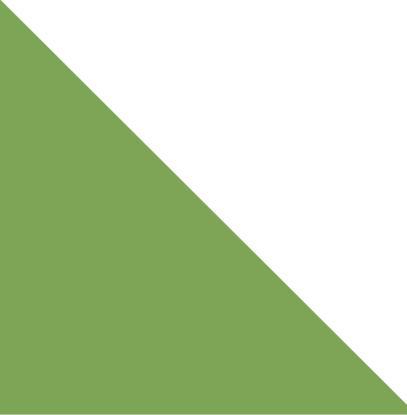
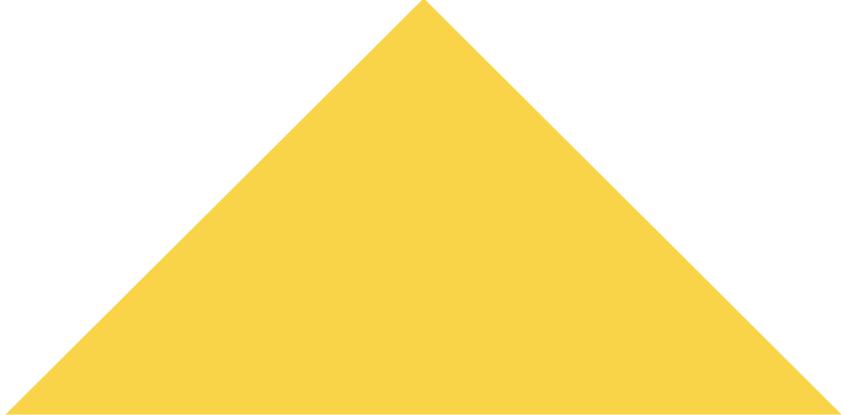




第66回運営推進会議

看護小規模多機能型居宅介護事業所 ケアステーションるぴなす



令和6年12月26日

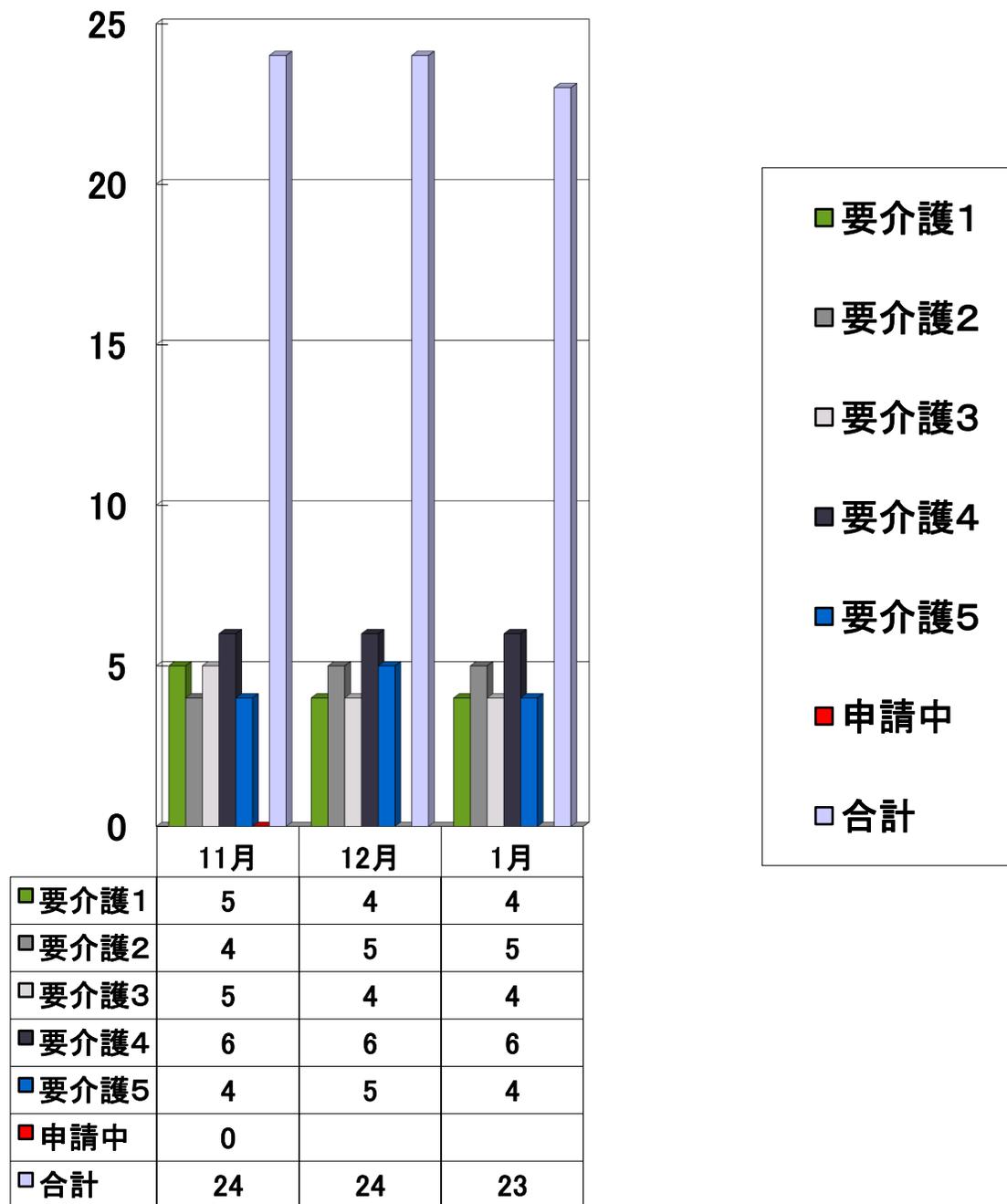
第66回運営推進会議

- るぴなすご利用者現況報告
- 活動報告
- 意見交換

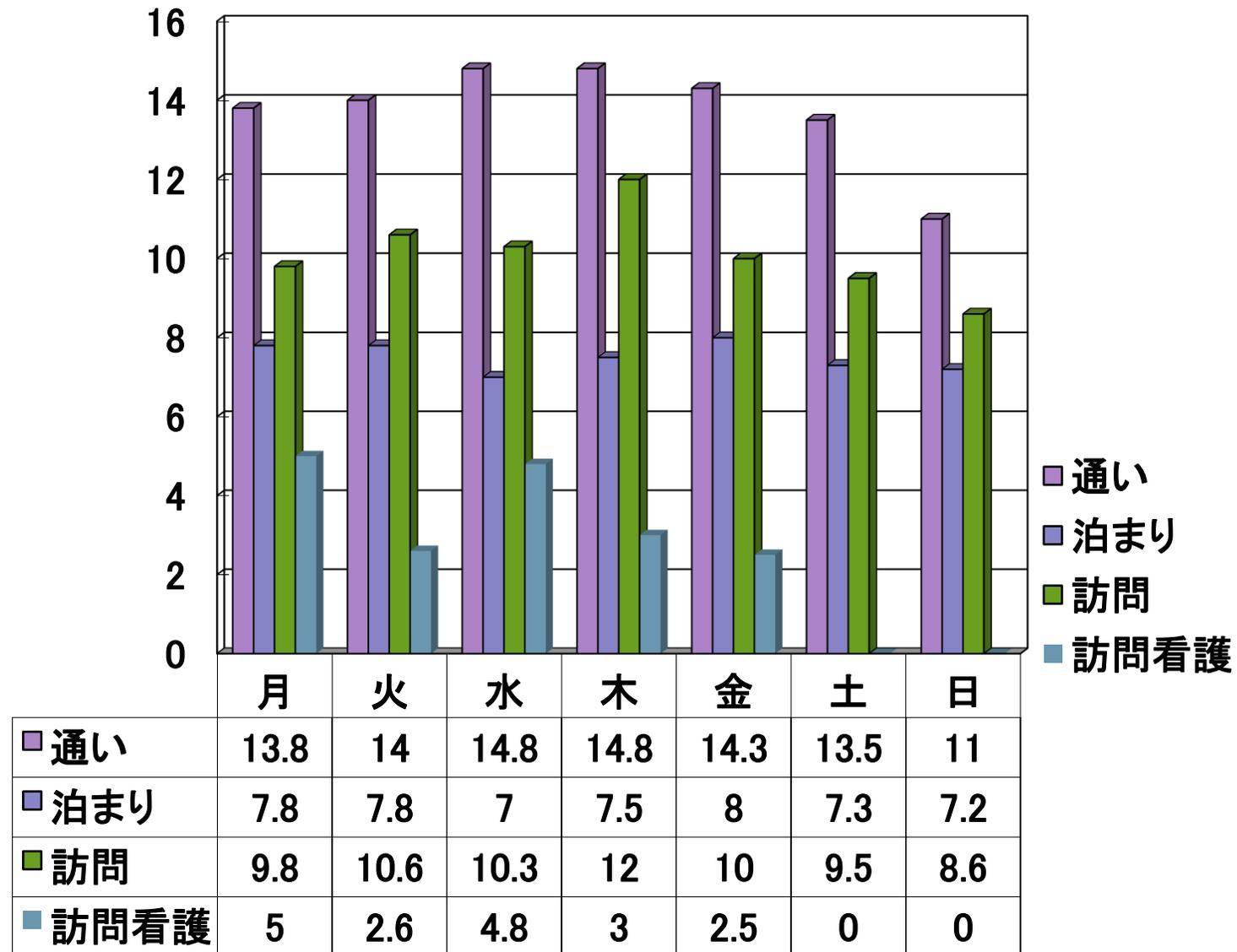


登録利用者数 令和6年11月～令和7年1月

12月
平均介護度 3.1



令和6年12月 曜日別延べ利用者数



令和6年度つながりの場づくり支援事業

【募集案内】

受付期間：令和6年4月30日（火）～令和6年5月17日（金）

新潟県福祉保健部 こども家庭課



おにぎり



開催日

2024年11月30日(土)

時間

15:00~17:00頃

なくなり次第終了

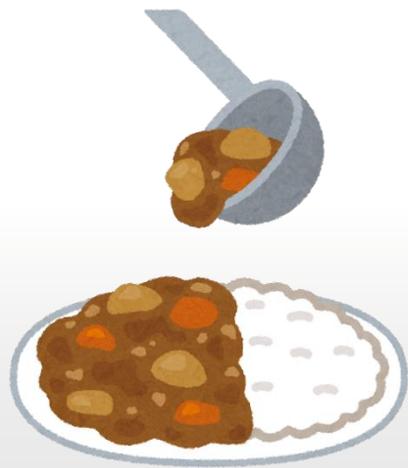
場所

ケアステーションるぴなす

お問い合わせ☎025-257-7141







①お菓子
つめ放題!
(対象:小学生以下のお子様)
無料!



②カレーライス
★新米 魚沼産こしひかり使用★
どなたでも **無料!**

開催日 2024年 **12月21日 (土)**
時間 **11:00~13:30** なくなり次第終了
場所 **ケアステーションるびなす**
お問い合わせ ☎025-257-7141



第66回運営推進会議

看護小規模多機能居宅介護事業所 ケアステーションるぴなす

開催日時：令和6年12月26日(木) 17:00～

出席者：高志2丁目自治会長・岩田様，民生委員・大嶋様

地域包括支援センター山潟・小石様，法人代表・斎藤先生，法人総務・物江

看護小規模管理者・吉井，計画作成担当者・中村

1 はじめに

- ・コロナ，インフルエンザが先週後半から一気に増えています。感染症に気を付けながら、地域の中で活動して行くための大事な会議ですので、今日もご意見いただければと思います。

2、利用状況報告

- ・登録利用者数、今月お一人亡くなられ現在23名。
- ・通い利用者、現在11～15名。泊まり利用者、現在7～8名。一人暮らしで、今まで訪問と通い利用されていた方が体調不良で連泊中の為、通い・泊まり利用者数が増えている。
- ・訪問、1日8～11名。回数にすると数十回。訪問ニーズは高まっている。
- ・訪問看護は1日2～5名。
- ・帯状疱疹から状態悪化するケースが続いた。体力が落ち、後遺症が残る場合もある。厚労省より、帯状疱疹ワクチンが定期接種となる。

3、活動報告

- ・干し柿づくり
- ・誕生日のお祝い
- ・みんなで運動
- ・新潟薬科大の看護実習生受け入れ
- ・紅葉を見に外出
- ・計算を頑張る方と、教える方
- ・近所の花屋さんにポインセチアを買いに行った。
- ・クリスマスの飾りつけ。お一人ずつ好きな飾りを選んで、好きな所に飾って頂いた。クリスマスプレゼントのお渡し。厨房手作りのケーキ。

4、つながりの場づくり

補助金を申請し活動中。活動期間は1/31までとなっており、色々と手探りでやっている。

- ・第一回11/30おにぎり ・第二回12/21お菓子つめ放題，カレーライス
- ・宣伝に、回覧板，町内会交流会，子ども会ライン，チラシ等、ご協力頂いた。自治会長より回覧板の方法の説明。
- ・回を重ねて恒例になり、地域の方に知って頂き利用して頂ければ。継続していきたい。

5、一人暮らし，夫婦のみの世帯が増えている。事業所でも増えており、どのように支援していけば良いか、社会的にどのような制度があるか。

(ケース1) 脳出血，麻痺がある一人暮らしの方

古いマンションの水漏れで下の階に被害あり、補修費用の支払いが必要になった。判断能力が低下しており、親族とは連絡をとっていない状態。マンション管理会社からの説明にるぴなす職員立ち会うがご本人は理解・判断が追いつかない。お一人だけ何かあった時に連絡可能な娘様に連絡取らせて頂き対応をお願いした。その後面会に来て下さり、繋がる事ができた。今回は連絡できたから良かったが、連絡がとれない場合はどうすれば良いか。

(ケース2) 認知症の妻と高齢の夫の二人暮らし

妻はるぴなすを利用中で週1回帰宅していたが、その夫が救急搬送で入院してしまった。お子様はなくなっており、近所付き合い，親族付き合いがなく閉鎖的な暮らし。長岡の90代の姉には連絡しているが、夫が亡くなったら財産管理や利用契約など、どうしたら良いか。

(小石様より)

・本人の判断能力低下で本人との契約が難しいと後見人だが、申し立てできないと市町村健康福祉課が申し立て、判断能力保たれていれば本人が申し立て、家庭裁判所で探してもらうが、時間がかかる。先に候補がいると早い。市町村申し立て、親族から異議なければ後見人の手続きをする。このようなケースは増えていくと思われる。

(意見交換)

- ・最近は同居の方が珍しい。子が県外。子が戻って来るよりも、そちらへ引き取る方が多い。でも同居は無理で近くの施設へ。
- ・一緒に住めず、高齢者住宅の利用も多い。
- ・今回夫が亡くなり一人暮らしになった認知症の妻も、子の住む県外の施設を探すことになった。
- ・環境が変わると、認知症が進むだろう。
- ・一人暮らし，夫婦のみと家族形態変わっているが、認知症になっても地域での生活が継続できるようにしたい。
- ・るぴなすは人数増やせないか。現在登録定員25名、小規模多機能は29名まで可能だが、広さが足りない為増やせない。
- ・包括では弁護士無料相談窓口など、専門家を紹介する。
- ・動けなくなってからようやく介護保険申請しようとするも介護保険証がなく再発行となり時間がかかるケース。家族でも意見が合わず、関われない，家庭内別居のようなケースがある。
- ・自治会役員，民生委員交代の話。

ありがとうございました

今年も一年お世話になりました。
今後ともご支援ご協力をお願いします。

ケアステーションるぴなす スタッフ一同